

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

December 2016

## 十勝の初冬

カラカラの乾いた十勝の冬の始まりです。降雪は3週間も早くあったのに、それも融けて、しばれて、乾いて、地べたがパンパンに凍りついています。朝-10℃に達するのが2回ほどありました。寒いですね。木々の葉がすべて落ち、草も枯れ果てています。異変のひとつにカシワの葉が木にありません。通年なら枯れ葉は、春の新芽が出るまで木にまとわりついています。アイヌの昔話で、自分の娘を嫁に行かせないためにカシワの葉が落ちたら行かせると言った約束は、即成り立ってしまいます。ドングリが山には落ちていません。木の上でとびまわっているエゾリスがやせてみえます。十勝の天候不順がどれだけ深刻かわかります。十勝の農家は、近年なかった冷害でかなりの減収になります。農業共済保険で何とか乗り切れるかの状態です。地方経済に深刻な影響を与えた一年でした。



## 活動のお知らせ

- 11月10日(木) とかちプラザ 地方特定品種全国推進会議・日本短角種産地交流会  
11月11日(金) 北海道畜産公社 第4回北海道肉専用種枝肉共助会開催  
とかちプラザ 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016開催

130名の参加で行われ、放牧和牛試食会および懇親会も70名の参加で行われ成功裏に終了させて頂きました。講演者の方々に感謝し、参集され遅くまで意見交換された会員方々にお礼申し上げます。来年1月末に肉牛飼養技術研修会&新年会を行う予定です。また御案内させて頂きます。



## NEWSばか読み

- よつ葉乳業 消費者の要望で牛乳パックをプラ製ふた付に変更  
10/27:ぐい飲みできず
- スーパー各社 高騰する和牛代替に交雑牛の販売強化 10/27:下へ下へ
- 中標津酪農ヘルパー 牛にやさしく接する事で乳量アップ実証  
10/27:人の性格が写る
- スーパー各社 野菜高騰でカット野菜に注文殺到 10/28:消費者も考える
- 森永乳業 機能性ヨーグルト増産に生産ライン増設  
10/29:生乳の消費拡大に期待
- 輸出メロンにプレーキ 天候不順と高齢化後継者不足  
10/29:優等生も天気に勝てず
- ユニ・チャーム 高齢犬の介護マットを発売 10/30:人犬(権)大切に
- 百貨店各社 アジアに活路 商機は「日本」10/31:品質が通用する限り有効
- 北海道 シカ処理場を開設認可しブランド化へ 11/2:食品の安全性が優先
- 1-9月の貿易統計 牛肉・リンゴが輸出額最高に 11/2:がんばっておるね
- 厚労省 生活保護受給者が最多の163万人 11/3:社会の仕組みが壊れている
- 三重県鈴鹿市 野菜高騰で学校給食休止 11/3:給食の意義を先生に教えたい
- 農水・消費者庁 全加工食品に産地表示を義務付け  
11/3:これで変わるか自給率
- 日本への逆輸入減少 アジアの件費高騰で逆転  
11/3:製造業の基本姿勢が課題
- 農水省「食と農の景勝地」に自給率1200%の十勝地区を認定  
11/4:責任感じるなァ
- パリ協定 発効 日本国会批准間に合わず 11/4:政府・政治家遅すぎ
- 財政審議会 飼料米の補助金の引き下げ提言 11/5:田んぼに水差すな
- 東日本くみあい飼料 F1で双子生産の経営モデル確率  
11/7:事故受胎率は如何に

- キューピー 筋肉女子向け卵白プロテイン入りの飲料開発  
11/7:これ以上強くなるの
- 不動産調査 高齢後継者不足で24年連続で田畑相場の下落止まらず  
11/8:構造改革
- 野菜高騰 ふるさと納税返礼品が急増、ホームセンター野菜苗人気  
11/8:いい機会
- 農水省 酒米一部供給に過剰感 需要に偏りが課題 11/9:もったいない
- 米国大統領 トランプ氏当選 11/10:どこへゆく米英
- 森永乳業調査 冬でもアイス需要定着口当たり重要  
11/15:サラサラの雪はあるけどね
- 北海道 ヘルシーDO(道食品機能性表示制度)の認知度低く  
11/15:知らなかった
- 植物工場 設備過剰、光熱費増で4割赤字 11/15:野菜不足なのに
- ALIC調査 高値で消費減 国産牛販売シェアが低下 11/15:大衆は節約志向
- 不作ジャガイモ 高値が続く 道産卸値6割高 11/15:末端価格200円越え
- 爆食中国に変化 豚生産世界最大手 万州国際が売り上げ5%減  
11/16:食も牛耳られてる
- ベジファースト推奨 野菜→肉→ご飯で血糖値減  
11/17:肉の前に野菜 あっている
- ローソン 自社農場のコメでおにぎりセット発売開始 11/17:逆6次化進む
- ホクレン 道産飼料98%でブランド豚肉発売 11/18:自給飼料に目覚めたか
- 王子HD 葉草作物カンゾウを2年に短縮栽培し発売開始 11/18:可能性の拡大
- 輸入水産物タコ・イカ・サケ軒並み値上げ 世界的に消費増  
11/18:食の拡大が急
- コンビニ各社 全商品に電子タッグ装着の方向 11/20:コンビニの合理化進む
- 宅配大手取扱5%増 ネット通販拡大 11/21:流通の多様化進む
- 飼料米 大規模農家が主流で増産 作期分散で有効 11/24:農家がすみ分け
- 関東降雪で電力需要がひっ迫使用率95% 11/25:天候激変対応大変
- 最終治療薬の効かぬ耐性菌 都内の豚肉鶏肉で検出 11/25:やばいかも

## 東京直近NEWS (11/29 Shi-REPORT)

**ホルス** 枝肉相場は上げ戻している状況も、販売状況は12月目前にも関わらず低調路線。気温低下からスライス物には引合い出てきているが、野菜高騰の影響が鍋需要も今一つ伸びない。カテゴリーは引合い強いが、他部位についてロイン系は価格次第、赤身バラ系は問合せも少なく余剰傾向懸念。年末を控え、給食需要も低迷しておりスソもの引合いが弱い。年末ぎりぎりまで日常使いとしてホルス需要に期待したいが、鶏豚に押されている印象に変化無し。

**経産牛** 生体市場は肥育もの含めて下落傾向。ガリものも相場は低迷気味。販売状況はホル去同様に鈍い。特にポーションパーツの需要が低下しており赤身系の荷動きがホル抜き同様に鈍い。ロイン系は引合い強いが、例年に比較するとこちらも弱い。加工外食系は、国産から輸入物にシフトしている印象が強い。国産の引合いが低調なことから、産地は在庫が増えている模様で、今後、在庫処分の価格競争が激しくなる傾向もあり。牛正肉についても同様で、輸入ものに売場シフトした点から引合い弱まり産地は在庫増傾向からこちらも価格競争を懸念。

# 左先生の畜産学研究NEWS

米国大統領選挙は予想に反してトランプ氏の勝利となり、世界は1月から米国の動向に緊張感をもって対応するでしょう。日本の政治は同盟継続を謳い率先してTPPを国会承認し、その漂流や軍事負担などへの対策に追われて行きます。変革を求め機動的に動くという米国の国民性を世界に示したのです。日本の農業改革の行方は農協改革に変わり、そのような試練がないと強い農家になれないと思われています。わが国の労働人口減少への対策と共に地球環境に立ち向かう日本の農業者確保は、世界を席巻する社会分断と大衆迎合の中でわが国の形を維持していく上で重要な課題です。e-びーふNews36号の学術情報は以下の通りです。

## 1.2011.10.4デンマークに学ぶ雇用型酪農経営への転換と教育支援ー日本とデンマークの戦略的パートナーシップ(帯畜大)

口560万人で国土は九州程度のデンマークは農業先進国との自負が強く、日本では豚肉や乳製品で知られています。農業人口は15万人と少数ながら農業協同組合形式が高度に組織化・発達し、酪農業の大型化教育とコースプログラムを紹介しています。日本の酪農メガファームよりは小規模ですが高機能に思われます。

- 1)ギテ・グロンベック(SEGES:酪農・牧畜リサーチセンター)大型酪農経営を目指す酪農家へ最先端研究知識の支援事例です。
- 2) エルス・エリック・イスパーセン (DALUM:デンマーク農業カレッジ)組織および中・大規模農業経営への教育モデル構築の解説です。
- 3) デンマークXergi社のバイオガス技術取り組みの紹介です。

## 2.2.2016.10.31.北海道肉牛研究会大会シンポジウム(新ひだか町コミュニティセンター)

第一部 ー牛肉の「おいしさ」に基づくブランド化を目指してー  
基調講演:国産乳用種牛肉、輸入牛肉および和牛肉の理化学特性と消

費者嗜好の解明(佐々木啓介:農・食技総研機構)牛肉のおいしさの化学的根拠を求めています。官能検査の結果では国産乳用種牛肉は和牛肉との輸入肉の中間的存在で、輸入肉との代替性は高いと思われます。

話題提供:黒毛和種の胸最長筋ならびに周囲筋の嗜好型官能評価(岡本匡代:釧短大) 女子短大生による黒毛和牛肉のしゃぶしゃぶ官能検査で部位別評価の結果では、腹筋筋はあらさ指数が高く、嗜好性が低いようです。

### 第二部 ー地域ぐるみで繁殖雌牛の改良を進めるー

話題提供1:地域ぐるみで黒毛和種繁殖雌牛の改良を進めるシステム(鹿島聖志:道総研畜試) 和牛雌牛の淘汰更新に育種価を活用し十勝池田町・十勝和牛で子牛の体重推定式を開発して、後継牛造成に好成績を上げました。

話題提供2:黒毛和種牛群管理ソフトを利用した優良雌牛保留の取り組み(淺石斉:日高農改セ) 日高管内(新冠、静内、浦河地区)での事例。客観的育種価の利用は少ないが若手生産者が多く、育種価の判明率は70%以上です。

### 3.畜産技術2016.10 研究レポート「和牛の代謝プログラミングと肉質制御」(後藤貴文:九大農院)

11月の環リ協シンポジウムの講演でも触れた黒毛和種牛の代謝プログラミングは、成長過程栄養状態や環境因子の作用による疾患の一つでありDNA配列の変化ではなくDNAの修飾変化とされています。脂肪蓄積能の高い黒毛和種牛に応用すると、胎児期や初期成長期の栄養制御で肥る体質を付与すると栄養吸収力が高まります。和牛雌牛で妊娠後期に-40%栄養制限すると100%栄養の母牛の子牛よりも脂肪蓄積関連遺伝子発現が高くなります。

# 道総研 畜産試験場NEWS

## 「和牛繁殖牛・子牛の飼養管理 市場評価の高い子牛を育てるために②」 全6回シリーズ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 佐藤 幸信

### 出荷時体尺値の比較

足寄町繁殖農家 4戸 青●  
(優良農家)  
大樹町繁殖農家 8戸 赤○  
(巡回指導農家)

